

勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

新規申請時の状況について記載する事項
(□には、適合する場合「✓」を記入すること)

(1) 勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握

ア 医療機関に勤務する医師数 (令和 年 月末時点)	常勤: 名 宿日直(*1)を担当する医師数: 名 (うち非常勤 名) *1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること	非常勤: 名
イ 勤務医の勤務状況の把握等(令和 年 月末時点)		
(ア) 勤務時間の具体的な把握方法(該当する事項に○すること) 複数回答可		
☐ ICカード		
☐ タイムカード		
☐ PCのログ情報や電子カルテのログ情報を用いた労働時間管理		
☐ 出席簿又は管理簿等の用紙による記録(上司等による客観的な確認あり)		
☐ その他 (具体的に:)		
(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(*2)の把握内容(該当する事項に○すること) 複数回答可		
☐ 年次有給休暇取得率		
☐ 時短勤務実施者(*3)数		
☐ 育児休業・介護休業の取得率		
☐ その他 (具体的に:)		
*2 前年度の実績を記載。 *3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者		
(ウ) 超過勤務時間(時間/月)(*4)		
平均: 時間/月 80時間/月以上の者の人数: 名		
最大: 時間/月 155時間/月以上の者の人数: 名		
最小: 時間/月		
*4 常勤医における値を記載。 *4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和		
(エ) 宿日直(回/月)		
平均: 回/月		
最大: 回/月		
最小: 回/月		
連日宿日直を実施した者の人数及び回数: 名・のべ 回		
(オ) その他(自由記載・補足等)		

(2) 勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

ア 特定労務対象医療機関の指定(該当する事項に全て○すること)
☐ 特定地域医療提供機関【B水準】
☐ 連携特定地域医療提供機関【連携B水準】
☐ 技能向上研修機関【C-1水準】
☐ 特定高度技能研修機関【C-2水準】
☐ 指定を受けていない【A水準】
イ 勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者
氏名:
職種:
ウ 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議
開催頻度: 回/年
参加人数(平均): 人/回
参加職種: ()
エ 医師労働時間短縮計画
計画策定について
初回の策定年月日: 年 月 日
直近の更新年月日: 年 月 日
G-MISへの登録: ☐ ※特定労務管理対象機関は登録が交付要件
職員に対する計画の周知: ()
オ 勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項の公開
医療機関内に掲示する等の方法で公開
(具体的な公開方法)